



岩五だより



江戸川区立小岩第五中学校
令和8年度 学校だより
～ 6月号 ～
令和8年 6月 9日発行

～思いやりをもてる6月に～

校長 前本 大智

初夏のさわやかな風が吹き抜けてきたと思うのもつかの間、関東も梅雨入りのお知らせが届く今日この頃となりました。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

先月5月30日(土)に「一致団結」をスローガンとして行われました本校運動会に、多くの保護者の皆様、地域関係者の皆様にご参観いただきましたこと、心より感謝申し上げます。一所懸命に走り、仲間と力を合わせて演舞し、係の仕事に打ち込む本校生徒の姿に、大きな成長と期待を感じる一日となりました。昨年度の今頃に書いた学校便りの中で、芒種である6月に小岩五中生の成長を願って種を蒔き、育てていくと書きました。確実に、小岩五中生は成長を遂げ、運動会を通して得た自信と「一致団結する経験」をこれからの学校生活にも生かしてくれることと思います。

6月初めの全校朝礼でお話したことをお伝えします。私は、みんなの前での話は短くしようと心がけています。要約したものを話していますので、この学校便りで是非、振り返ってみてください。



6月は、「ふれあい(いじめ防止強化)月間」となります。いじめの防止を目的に、現在起こっている事案の確認と状況、課題等について整理して対応強化する月間となります。

これは我々教職員側の意識を高めるとともに、生徒アンケートやいじめに関わる道徳授業等を行うことによって未然防止にも役立てています。今回の学校便りのタイトルにあるように、自分とともに、自分の周りにいる人にも思いやりをもてる6月になればいいと思います。物の考え方や言い方、進め方、そして生き方も人それぞれです。しかし、分かっているだけでも、なかなか乗り越えられないのが我々人間の常です。自らを戒め、思い出せるように、強化月間を設けてくれているのかもしれませんが、今年度が始まって2か月が過ぎました。今の学年とクラスに慣れ始めたころに、このふれあい月間が行われている意味を考えながら、日常の学校生活にしっかり取り組んでいきましょう。

挨拶についての話もしました。相手にしっかり心に向けて気持ちの良い挨拶ができるようにしていきましょう。

挨拶ができると、相手との会話のきっかけになったり、これから先の人間関係を深めていく素になったりします。相手を思う温かい心で挨拶をすれば、互いの心の距離も縮まっていきます。ここにも、思いやりの精神が必要です。

気持ちの良い、心通う挨拶が、あたり前に飛び交う小岩五中になっていければと思います。

また、これは読み物から教えてもらった話ですが、授業の時の挨拶は、授業者の先生と生徒との間で大切なことですが、見方を変えともう一つ重要な意味があるというものでした。そんな意味や見方があったんだと、私自身が驚き、良い話だったので、みんなに紹介しました。お家の方にも、是非お話してくれたら嬉しいです。

6月の中旬に、期末考査があります。これからの授業が、とても大切になってきます。授業者の先生に対してだけではなく、プラスαのことを思い浮かべて挨拶に取り組み、背筋が伸びる思いをする人もいることでしょう。

挨拶という行動一つでも、実に深い意味をもち、自分をつくることにつながっていきます。さあ、梅雨の季節ですが、心のこもった元気な挨拶で、小岩五中生は進んでいきましょう。

生徒総会



6月5日(金)に生徒総会が行われました。議長団による進行のもと、生徒会本部が活動方針の説明を行い、前期学級委員会や専門委員会の委員長から活動案発表と所信表明が行われました。活動案が全て承認されたことにより、今年度の生徒会活動が本格的に始まることとなります。今回の生徒総会は、生徒が主体となり、よく自分たちで進行できていました。きっと1・2年生の中には、上級生の姿を憧れの眼差しで見ている人も多いと思います。学校の中心は少しずつ2年生に移っていきます。

ぜひ、後輩の皆さんには先輩方が作った良い伝統は引き継ぎ、ただ新しいことにもぜひ挑戦し、小岩五中を更に良くして行ってほしいと思います。

大切な命を守るために…

本校では災害時に生徒の命を確実に守るために、毎月避難訓練を行っています。主に地震と火災からの避難方法について学んでいます。学校には訓練と名前が付くものほとんどありません。「部活動の練習」や「運動会の練習」とは言っても「部活動の訓練」や「運動会の訓練」とは言いません。

調べてみると、練習が自分の意志で行い技術の向上を目指すものであるのに対して、訓練は組織や指導者が主導して計画的に行い、能力の向上を図るものだそうです。

ですから避難訓練は、学校が生徒の命を守るために計画的に実施して、災害時に避難できる能力を向上させるために行っているものだという事になります。

今の時代に強制されて行うものの中で、数少ない一つが「避難訓練」です。真剣に取り組み、「自分の命は自分で守る」そういう気持ちと能力を養って行ってほしいと思います。

